

1

2

3

4 Prioris LX Server シリーズ

5 Windows NT Server インストールガイド

6 ServerWORKS Quick Launch Version 1.0 ～1.3 用

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39 μ §日本デジタルイクイップメント株式会社

Version 1.1

はじめに

本書は、「ServerWORKS Quick Launch Version 1.0～1.3」CD-ROM が付属している Prioris LX Server シリーズに Windows NT Server 3.51 をインストールする際の、注意事項について説明したものです。「ServerWORKS Quick Launch Version 1.0～1.3」CD-ROM が付属している Prioris LX Server シリーズに **Windows NT Server 3.51** をインストールする場合にお読みください。**Windows NT Server 3.51** に付属のマニュアル、ご使用の **Prioris LX Server** に付属のマニュアルおよび装着するオプション装置に付属のマニュアルもあわせてごらんください。

また、本書は ServerWORKS Quick Launch Version 1.0～1.3 をもとに記載されています。別のバージョンのソフトウェアでは内容が異なることがあります。

Quick Launch CD-ROM および Quick Launch で作成したディスクレットは必ず添付されていた PRIORIS Server でご使用ください。これらは、システムの設定を変更するソフトウェアを含んでいます。このソフトウェアとシステム BIOS などのバージョンが合わないとシステムが安定して動作しない場合があります。また、システム BIOS をアップグレードすると、通常システムコンフィギュレーションユーティリティ (SCU) も新しいものを使用する必要があります。この場合には、Quick Launch CD-ROM の SCU ではなく新しいシステム BIOS 用の SCU を使用してください。これらのソフトウェアの保管の際には、添付されていた PRIORIS Server の確認ができるように、PRIORIS Server のシリアルナンバを記入したラベルを貼るなどして管理することをおすすめします。

目次

μインストールをはじめる前に	2
オプション装置の装着	2
Quick Launch によるセットアップ	5
ユーティリティおよびドライバディスクレットの作成	8
EZ-SCSI のインストール	9
Windows NT Server 3.51 のインストール	10
インストール後の作業	13
その他	14

ご注意

- 1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気付きの点がございましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 4) 運用した結果の影響につきましては、3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

digital, Digital PC は、米国 **Digital Equipment Corporation** の商標です。

Pentium は、米国 Intel 社の商標です。

Phoenix BIOS は、米国 Phoenix Technologies 社の商標です。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft 社の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1. インストールをはじめる前に

本書では設定例として、次の2つの構成の場合に Windows NT Server 3.51 の CD-ROM 版をインストールする方法について説明します。

内蔵の SCSI コントローラ (AIC7850) にハードディスクおよび DAT を接続する場合。

PCI RAID コントローラを追加してハードディスクを接続する。また、内蔵の SCSI コントローラ (AIC7850) に DAT を接続する場合。

2. オプション装置の装着

各オプション装着を、次の点に注意して設定、装着してください。

メモリを増設する場合

メモリを増設する時には、以下の点に注意してください。

メモリを増設する場合には、各 SIMM ソケットに決められた構成で SIMM メモリを増設する必要があります。メモリの構成については、「Digital Prioris LX Server ユーザーズガイド」を参照してください。

ハードディスクの設定

ハードディスクを設定する時には、以下の点に注意してください。

1. 装着するハードディスクが1台の場合には、SCSI ID を 0 に設定してください。複数のハードディスク、' , , ■ , , ■ \$ f f f f f f , S C S I I D , 0 , , " , \$, " , , , , , , ■ S C S I I D 7 , ■ S C S I f f f f f f , Ž — , , , , , , Ž — , , , , , , ■ , C D - R O M f f f f , S C S I I D 6 , Ž — , , , , , , ■

2. f f f f f f , S C S I f f f f f f f f , ■ ' , - C E , , , , , , , \$ " , , , , , , ■

3. f f f f , % ° " , Ž , , ■ (S p i n U p) , ■ " C E , " " , Ž , % ° " , Ž , , ■ (P o w e r O n S p i n U p) , , , , , , , \$ " , , , , , , ■

4. ' ■ ■ P o w e r O n S p i n U p , ■ ' , Ž — , , , , , , ■ ' , f f f f f f , " " , , , , , ■ ■ Ž , , , f f f f f , • Ž さ れ , f i s k が 使 用 で き な い こ と が あ り ま す 。

Device Connected But Not Ready

多くのオプション製品を取り付けている場合、電源投入時に多量の電源を消費するため電源容量が不足してディスクが正常に回転しないことがあります。この場合、次のように設定してください。

ハードディスクのジャンプスイッチの設定を変更して、ディスクの回転 (Spin Up) の設定を Power On Spin Up ではなく、SCSI コマンドで行うようにする。

SCSI コントローラの設定を変更して、接続しているハードディスクにディスクの回転コマンド (Spin Up Command) を送るように設定する。

DAT の設定

DAT を設定する時には、以下の点に注意してください。

SCSI ID を他の SCSI 装置と衝突しないように設定してください。通常は、SCSI ID 5 に設定します。

DAT の SCSI バスターミネータの設定が無効になっていることを確認してください。

DAT でデータの圧縮をするかどうかの設定 (DC: Data Compression) を、必要に応じて有効 (Enabled) または無効 (Disabled) に設定してください。DDS2 で圧縮機能を使用する場合には、Enabled に設定します。

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(内蔵 SCSI コントローラに接続する場合)
次の図のように各 SCSI ケーブルを接続してください。

μ §

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(内蔵 SCSI コントローラに接続する場合)

記号
構成部品

A
Narrow SCSI ケーブル(本体に標準添付)

B
Narrow SCSI コネクタ

C

40 CD-ROM ドライブ (SCSI バスのターミネータは CD-ROM ドライブに取り付けてあります。CD-ROM ドライブは必ず SCSI ケーブルのいちばん端のコネクタに取り付けてください)

41

42 D

43 DAT ドライブ

44

45 E

Narrow SCSI ハードディスクドライブ

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)

- 次の図のように各 SCSI ケーブルを接続してください。別途「内蔵用 Wide SCSI ケーブルキット(FR-PCXAR-WA)」が必要になります。また、Narrow SCSI のディスクを接続する場合、4 台目以上のディスクには「Wide/Narrow 変換アダプタ(FR-PCXAR-WB)」が必要になります。
-
- μ §
-
- SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)
-
- 記号
- 構成部品
-
- A
- Narrow SCSI ケーブル(本体に標準添付)
-
- B
- Narrow SCSI コネクタ
-
- C
- CD-ROM ドライブ(CD-ROM ドライブは内蔵 SCSI コントローラに接続してください。また、SCSI バスのターミネータは CD-ROM ドライブに取り付けてあります。CD-ROM ドライブは必ず SCSI ケーブルのいちばん端のコネクタに取り付けてください)

D

DAT ドライブ(DAT ドライブは内蔵 SCSI コントローラに接続してください)

F

- PCI Wide SCSI RAID コントローラ (ここでは、PCI Slot 1 に装着して、Wide SCSI ケーブルキットで各ハードディスクに接続します)
-
- G
- 内蔵用 Wide SCSI ケーブルキット(FR-PCXAR-WA) : 別売
-
- H
- Wide SCSI コネクタ
-
- I
- Wide SCSI ターミネータ (Wide SCSI ケーブルキットに付属)
-
- J

1. **Wide SCSI ハードディスクドライブ(Narrow SCSI ハードディスクを装着する場合には、Wide/Narrow 変換コネクタで Wide SCSI ケーブルに接続します)**

45.1

45.2

3.Quick Launch によるセットアップ

- オプション装置の装着が終わったら、Quick Launch CD-ROM から起動してセットアップを行います。次の手順で設定してください。
-
- コンピュータの電源を入れてシステムを起動します。
-
- CD-ROMドライブに Quick Launch CD-ROM を挿入すると CD-ROM から起動します。この時、次のメッセージが表示された場合には[F1]キーを押して続行してください。
- Press <F1> to resume,<F2> to Setup
-
- Quick Launch CD-ROM Version 1.2 または 1.3 を使用している場合には、使用言語の選択画面が表示されます。「6. Japanese」を選択してください。
-
- SCU(System Configuration Utility)が起動されます。SCUが起動しない場合にはリセットして、右の[Alt]キーを押し続けてください。また、次のメッセージを表示したところでストップすることがあります。この場合には[Enter]キーを押して SCU の起動を続行してください。
- MB=5110
-
- SCU が起動したら、「Main Menu(メインメニュー)」から「Configure Computer(システム環境設定)」を選択してください。メニューが表示されたら、「Step 3: View or Edit Details(設定値の表示と編集)」を選択してください。
-
- 各項目を次のように設定してください。
- System - Digital Prioris LX System Board
- System Processor Type ... Pentium(TM)
- System Processor Clock ... *** MHz
- System Base Memory ... **640 KB**
- **System Extended Memory** ... ***** KB, AT Bus Space Disabled
- System BIOS ... PhoenixBIOS(TM) Version *.*
- Diskette Drive Group
- Onboard Diskette Controller ... Enabled
- ◆ Diskette Drive A: ... 3.5 inch 1.44 MB drive
- ◆ Diskette Drive B: ... Not installed
- ◆ Exchange Diskette Drives ... Disabled
- ◆ Diskette Write Protection ... Disabled
- ◆
- ◆ Hard Disk Group
- ◆ Local Bus IDE Adapter ... Disabled
- ◆ Large Drive Access Mode ... DOS
- ◆
- IDE - Primary Master Group
- IDE - Primary Master Group ... Not Install
- Multi-Sector Transfers ... Disabled
- LBA Mode Control ... Disabled
- 32 Bit I/O ... Disabled
- Transfer Mode ... Standard
-
- IDE - Primary Slave Group
- IDE - Primary Slave Group ... Not Install
- Multi-Sector Transfers ... Disabled
- LBA Mode Control ... Disabled
- 32 Bit I/O ... Disabled
- **Transfer Mode** ... **Standard**

45.3

45.4 IDE - Secondary Master Group

IDE - Secondary Master Group ... Not Install
Multi-Sector Transfers ... Disabled
LBA Mode Control ... **Disabled**
32 Bit I/O ... **Disabled**
Transfers

r
Mode
...
Stan
dard

IDE
-
Seco
ndar
y
Slav
e
Grou
p
IDE
-
Seco
ndar
y
Slav
e
Grou
p .
.. Not
Instal
l

Multi
-
Sect
or
Tran
sters
...
Disa
bled

LBA
Mode
Contr
ol
...
Disa
bled
32
Bit
I/O
...
Disa
bled

Tran
sfer
Mode
...
Stan
dard

Boot

Options Group

Boot sequence

...

45.5 A: then C:

45.6

45.7 Serial Port Group

Serial Port 1 ... Enabled at: 3F8h-3FFh(IRQ4)
Serial Port 2 ... Enabled at: 2F8h-2FFh(IRQ3)

Parallel Port Group

Parallel Port ... Bi-Directional Mode :378h-37Ah,IRQ7

Video Options Group

Video Type ... VGA or EGA

Shadow Options Group

Shadow Video BIOS ROM ... Enabled
Shadow C8000h-CBFFFh ... **Disabled**
Shadow CC000h-CFFFFh ... Disabled
Shadow D00

00h-
D3FF
Fh

...
Disa
bled

Shad
ow
D400
0h-
D7FF
Fh

...
Disa
bled

Shad
ow
D800
0h-
DBFF
Fh

...
Disa
bled

Shad
ow
DC00
0h-
DFFF
Fh

...
Disa
bled

Secu
rity
Optio
ns
Grou
p

Supe
rviso
r
Pass
word

...
Not
Instal
led

Pass
word
on
boot

...
Disa

bled

Disk
ette
acce
ss

...
User

Fixed
disk
boot
secto
r

...
Norm
al

Netw
ork
Serv
er

...
Disa
bled

Syst
em
back
up
remi
nder

...
Disa
bled

Virus
chec
k
remi
nder

...
Disa
bled

Cach
e
Optio
ns
Grou
p

Inter
nal
Cach
e

...
Enab
led

External
Cache

...

Enabled

Cache
System
BIOS
ROM

...

Enabled

Cache
Video
ROM

...

Enabled

Power
Management
Options
Group

Power
Savings

...

Disabled

Monitor
Suspend
Timer

...

Disabled

Monitor
Off
Timer

...
Disa
bled

Rese
rved
Syst
em
Reso
urces

...
Confi
gurati
on
file
and
over

46 lay

- Version V*.**
- Mouse Port ... Enabled
 - Hardware Monitor ... Disabled
 - PCI Arbiter Priority ... System Default
 -
 - Integrated SCSI Device Group
 - Enable Device ... Enabled
 - PCI Interrupt ... One IRQ required :IRQ11([F6]キーで表示,変更可能)
 - Use Default Latency Timer Value... No
 - Latency Timer **Value** ... **40h**

Integrated Network Device Group

- **Enable Device** ... Enabled
- **PCI Interrupt** ... One IRQ required :IRQ5 ([F6]キーで表示,変更可能)
- Use Default Latency Timer Value... No
- Latency Timer Value ... 40h
-
- PCI Slot 1 Options Group *
- Enable Device ... Enabled
- PCI Interrupt ... One IRQ required :IRQ10([F6]キーで表示,変更可能)
- Use Default Latency Timer Value... No
- Latency Timer Value ... 40h
-
- PCI Slot 2 Options Group
- Enable Device** ... Disabled
- PCI Interrupt ... None
- Use Default Latency Timer Value... No
- Latency Timer Value ... 40h
-
- PCI Slot 3 Options Group
- Enable Device ... Disabled
- PCI Interrupt ... None

- Use Default Latency Timer Value... No
- Latency Timer Value ... 40h

CL-GD5428 VGA graphics Controller
CL-GD5428 VGA Accelerator ... Graphics: Color and Mono

* PCI RAID コントローラを装着している Slot を設定します

設定が終わったら [Esc] キーを押した後「Step 5: Save and Exit(保存と終了)」を選択します。ここで、自動的にリセットされて CD-ROM から起動します。

RADI コントローラを装着していない場合には、DOS パーティションを作成する画面が表示されます。ここでは 90MB に設定します。パーティションが作成された後、自動的に再起動されます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起動されます。ここで RAID コントローラの設定および論理ディスクの作成を行います。RAID の設定については RAID コントローラに付属のマニュアルをごらんください。RAID の設定が終わったら、RAID コンフィギュレーションユーティリティを終了します。

DOS パーティションを作成する画面が表示されますが、ここでは何も入力せずに [Ctrl][Alt][Del] キーを押してシステムをリセットしてください。CD-ROM から再起動すると、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起動されます。RAID の設定は終了しているので、このままユーティリティを終了します。DOS パーティションを作成する画面が表示されたら、90MB に設定します。パーティションが作成された後、自動的にリセットされます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

Quick Launch Version 1.0~1.3 のメインメニューでは次のことが実行できます。

メニュー
機能

[Using Quick Launch]
Quick Launch の使用方法の説明

[User Documentation]
PRIORIS Server シリーズの各種マニュアルの表示

[Install Software]
ソフトウェアのインストール支援

[Conventional Install]
ユーティリティおよび各 OS 用のドライバディスクの作成

[Express Install]
日本語版 Windows NT および NetWare では使用できません

[Replicate Install]
日本語版 Windows NT および NetWare では使用できません

[Service Information]
サービス情報の表示

また、ハードディスクの DOS パーティションには次のユーティリティがインストールされています。これらのユーティリティはハードディスクから DOS を起動した後、実行することができます。

ユーティリティ
ディレクトリ
実行ファイル

診断プログラム
C:\DIAG\
DIAGNOSE.BAT

RAID コンフィギュレーションユーティリティ
C:\RCU\
RAID.BAT

SCU(System Configuration Utility)
C:\SCU\
SCU.BAT

EZ-SCSI のセットアップファイル
C:\EZSCSI\
DOSINST.BAT

Quick Launch を終了した後の DOS 画面および、ハードディスクから DOS を起動した場合には、英語モードの DOS になっています。この時、標準装備の 106 キーボードでは押したキーと入力される文字が一部異なります。次の表にしたがってキー入力してください。

入力したい文字	押すキー
入力したい文字	押すキー

≠ または \	[]
]	[]

=	[Shift][;]
≈	[Shift][@]

*	[Shift][8]
≈	[Shift][[]

=	[^]
"	[Shift][:]

+	[Shift][^]
≈	[Shift][7]

¯	[Shift][-]
,	[:]

€	[Shift][9]
[[Shift][6]

)	[Shift][0]
@	[Shift][2]

[[@]
---	-----

4. ユーティリティおよびドライバディスクの作成

Quick Launch を使用して、各種ユーティリティおよび Windows NT Server 3.51 用のドライバディスクを作成することができます。Quick Launch Version 1.0~1.3 を使用している場合、Windows NT Server 3.51 をインストールするためにドライバディスクを作成する必要はありません。RAID コントローラのドライバは RAID コントローラに付属のドライバを使用し、その他のドライバはすべて Windows NT Server 3.51 に付属のものを使用します。ここでは、ユーティリティディスクのみを作成します。ここで作成するユーティリティはハードディスクの DOS パーティションにもインストールされており、DOS を起動した後にハードディスクから実行することもできます。しかし、システムが起動しなくなった場合に備えて、緊急用にディスクを作成しておくことを強くおすすめします。次の手順でディスクを作成してください。

Quick Launch のメインメニューから [Install Software] アイコン、[Conventional] タグ、[Windows] アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51] が表示されたら、[Continue] ボタンを選択します。

次のようなユーティリティおよびドライバの一覧が表示されます。ここでディスクットを作成するのは、Diagnostics(診断プログラム)および Prioris Server Configuration Utility(SCU)(システムコンフィギュレーションユーティリティ)だけです。

3COM EISA Ethernet,3c579x
3COM ISA Ethernet,3c509B
Adaptec 2940,2940W,3940W,and On-board PCI SCSI Controller
Cirrus On-Board Video Adapter
CMD On-board IDE Controller
Diagnostics
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter, Windows NT
Digital EISA FDDI DEFEA
Digital On-board Ethernet 21040
Digital PCI Ethernet,DE435
Logitech Mouseware
Matrox Millenium Video Adapter,Windows NT
Mylex Configuration and Utilities
Mylex EISA and PCI RAID Controller
Prioris Server Configuration Utility(SCU)
Proteon EISA Token Ring 1990+, 1 of 2
Proteon EISA Token Ring 1990+, 2 of 2
Racal PCI Ethernet T2
ZNYX PCI Ethernet,ZX312

Diagnostics を選択した後、フォーマットした 2HD のディスクットを挿入して [Continue] ボタンを選択すると、次のような画面になります。ここでは作成するディスクットのラベルが表示されますので、これをディスクットのラベルに記入してください。 [Enter] キーを押すとディスクットが作成されます。

Digital Equipment Corporation
QAPLUS/FE (TM) Version 5.30B
1) Power off the system
2) Place diskette in Drive A:
3) Power on the system
(c) 1994 DIAGSOFT, Inc.
(c) 1994 Microsoft Corp.
(c) 1994 Adaptec, Inc.
(c) 1992 Logitech, Inc.
All Rights Reserved

Insert a blank high-density diskette in drive A:
Press ENTER to extract, or ESC to exit -

同様に Prioris Server Configuration Utility(SCU)のディスクットも作成してください。

5.EZ-SCSI のインストール

EZ-SCSI は Adaptec コントローラ用の DOS 用ドライバおよびユーティリティです。以下の手順でインストールしてください。

Quick Launch のメインメニューから [Exit] ボタンを選択して Quick Launch を終了します。(必ず Quick Launch CD-ROM から起動した後、Quick Launch を終了して DOS 画面にしてください。ハードディスクから DOS を起動した状態ではインストールできません)

C:\EZSCSI\DOSINST.BAT を実行してください。

メニューにしたがってインストールを続行します。

MSCDEX.EXE ファイルを要求するメッセージが表示される場合には R:\ディレクトリを指定してください。

CONFIG.SYS および AUTOEXEC.BAT を変更する画面が表示されたら、[Make all modifications for you] を選択してください。
インストールが終了した後、ハードディスクから DOS を起動すると Adaptec SCSI コントローラ用のドライバがロードされます。

EZ-SCSI 使用時の注意事項

内蔵 SCSI コントローラ AIC-7850 に CD-ROM だけが接続されている構成の場合、EZ-SCSI がインストールできない場合があります。この場合には SCSI Select ユーティリティを起動して、Initiate Sync Negotiations の項目をすべて NO に設定してください。

EZ-SCSI をインストールすると、コンベンショナルメモリ不足のためハードディスクから SCU を起動することはできなくなります。SCU を実行する場合には CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT をリネームした後、再起動する必要があります。

6.Windows NT Server 3.51 のインストール

Windows NT Server 3.51 をインストールする場合には次の手順を実行してください。

Windows NT Server 3.51 のセットアップブートディスクと Windows NT Server 3.51 の CD-ROM を挿入して起動してください。

画面表示にしたがって、セットアップディスクを順番に挿入します。

「Windows NT Server セットアップディスク #3」を挿入してセットアップを続行した後、次の画面が表示されたら、[Enter]キーを押して高速 セットアップを選択してください。

Windows NT Server セットアップ

=====

Windows NT のセットアップの方法には、次の2つの方法があります：

高速セットアップ（こちらをお薦めします）

高速セットアップでは、Windows NT の組み込みを迅速かつ容易に行えるように、難しい設定はセットアップが自動的に判断します。

高速セットアップを使用するには、Enter キーを押してください。

カスタム セットアップ

カスタムセットアップは、Windows NT の設定内容を自分で制御したい経験の豊富なコンピュータ ユーザを対象にしています。

カスタム セットアップを使用するには、C キーを押してください。

これらのセットアップについて説明を表示するには、F1 キーを押してください。

Enter=高速セットアップ C=カスタム セットアップ F1=ヘルプ F3=終了

セットアップディスク #4 挿入した後、次の画面が表示されたら、Adaptec の SCSI コントローラおよび RAID コントローラが検出されていることを確認して [Enter] キーを押してください。RAID コントローラを装着していない場合には、Adaptec の SCSI コントローラのみが検出されます。

Windows NT Server セットアップ

=====

セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました:

Adaptec 294x/AIC 78xx (PCI)
Mylex DAC960 / DEC SWXCR-Ex

- Windows NT で使用する SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、または特殊なディスク コントローラを追加して指定する場合は、S キーを押してください。大容量記憶装置のメーカーのデバイス サポート ディスクで指定する場合も、S キーを押してください。
- メーカーのデバイス サポート ディスクがない場合、または追加で指定したい Windows NT を使用する大容量記憶装置がない場合は、Enter キーを押してください。

S=追加デバイスの指定 Enter=続行 F3=終了

ここで、次の画面が表示されることがありますが、このまま [Enter] キーを押して続行してください。

Windows NT Server セットアップ

=====

続行するには、Enter キーを押してください。

シリンダの数が 1024 を超えるハードディスクが存在します。

一般的に、MS-DOS では、1 台のハードディスクのシリンダ数は最大 1024 ですが、ハードディスクコントローラの中には、特別な構成オプションを用意して、大容量のハードディスク全体にアクセスできるようにしてあるものもあります。このオプションはセクタ変換モードと呼ばれます。ディスクのシリンダ数が 1024 を超えるときや、セクタ変換モードを使用できないときには、MS-DOS ではディスクの一部にアクセスできません。セクタ変換および大容量ハードディスクに関しては、コンピュータまたはハードディスクコントローラのマニュアルを参照してください。

後で表示されるハードディスクに関する情報で、ディスクのサイズが小さすぎる場合は、セットアップを終了し、CMOS ドライブタイプの設定を調べる必要があります。CMOS ドライブタイプの設定の詳細については、コンピュータまたはハードディスクコントローラのマニュアルを参照してください。

このメッセージは、必ずしもエラーを示すものではありません。ハードディスクの中に、現在の構成よりも実際のサイズが大きいハードディスクが存在する可能性があります。

Enter=続行

次の画面が表示されたら Windows NT Server 3.51 の CD-ROM が挿入されていることを確認して [Enter] キーを押してください。

Windows NT Server セットアップ

=====

コンピュータには、3.5" の高密度フロッピーディスクドライブ (1 台以上) に加えて CD-ROM ドライブが接続されています。
(注: 5.25" のディスクからの組み込みはサポートされていません)。

Windows NT の組み込み元のメディアを選択してください。

¥ Windows NT を CD-ROM から組み込むには、Enter キーを押してください。

¥ Windows NT を 3.5" ディスク (ドライブ A:) から組み込むには、A キーを押してください。

Enter=CD-ROM ドライブ A=ドライブ A: F3=終了

画面表示にしたがってセットアップを続行してください。次のような画面が表示されたら、未使用の領域を選択して[C]キーを押します。Windows NT Server 3.51をインストールするパーティションのサイズを入力して[Enter]キーを押します。作成したパーティションを選択して[Enter]キーを押し、フォーマットタイプ(FATまたはNTFS)を選択した後[Enter]キーを押します。
C:ドライブにWindows NTを組み込むことはできません。
また、2GBを超えるハードディスクまたはRAIDの論理ドライブの場合、システムパーティションのサイズは2GBまでしか作成できない場合があります。2GBを超える領域はWindows NT Serverをインストールした後、ディスクアドミニストレータでパーティションを作成して使用することができます。

Windows NT Server セットアップ

=====

Windows NTを組み込むパーティションを作成してください。既存のパーティションと、新規パーティションの作成に使用できる容量は次のとおりです。

次の一覧から上向き方向キーと下向き方向キーを使ってパーティションを選択してください。

¥ 選択したパーティションまたは未使用の領域にWindows NTを組み込むには、Enterキーを押してください。

¥ 未使用の領域にパーティションを作成するには、Cキーを押してください。

¥ 選択したパーティションを削除するには、Dキーを押してください。

8190 MB ディスク 0 Id 8 (パス 0 dac960nt上)
C: FAT(QL DOS) 90 MB (84 MB 空き)
未使用の領域 1958 MB

Enter=組み込み C=パーティションの作成 F1=ヘルプ F3:終了

CD-ROMからハードディスクにファイルのコピーが終了したら、[Enter]キーを押してコンピュータを再起動します。このときフロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出しておいてください。

コンピュータが再起動したら、画面表示にしたがってセットアップを続行してください。

Windows NT Server 3.51はインストール中にライセンスモードを選択する必要があります。"同時使用ユーザ数"または、"接続クライアント数"のどちらかを選択してください。どちらを選択すべきかは、使用する環境によって異なります。ヘルプおよびWindows NT Server 3.51のマニュアルを参照してください。

次のウィンドウが表示されたら、[AutoDetect]を選択して[続行]をクリックしてください。

DEC DECchip 21040 ベースのアダプタセットアップ

接続の種類(C):
[続行]

AutoDetect
[キャンセル]

ネットワークアダプタに正しいケーブルの種類を選んでください。利用可能なオプションの詳細な説明の一覧を参照するには、[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。
[ヘルプ(H)]

ここでCD-ROMからファイルのコピーが始まります。以後、画面表示にしたがってインストールを完了してください。

7.インストール後の作業

インストールが終了した後に次の作業を行ってください。

RAID コントローラのドライバの変更

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コントローラのドライバを入れ替えます。次の手順で行ってください。

プログラムマネージャのメイングループから[Windows NT セットアップ]を起動します。

[設定]メニューから[SCSI アダプタの追加と削除]を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex]を選択した後、[削除]を選択します。

[追加]を選択するとインストールするアダプタの選択画面になります。[その他(ハードウェアメーカーのディスクが必要です。)]を選択します。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入してパスを指定します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960 Disk Array Adapter]が表示されたら、[OK]を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex]を選択して[組み込み]を選択します。

次に[新しいドライバ]を選択すると、ドライバのパスを入力する画面が表示されます。ここで、次のパスを指定して[OK]を選択します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex]が追加されたことを確認して、[閉じる]を選択します。

以上でドライバのインストールは終了です。Windows NT Server を再起動してください。

RAID ユーティリティのインストール

RAID コントローラを装着している場合には RAID コントローラのユーティリティをインストールします。次の手順で行ってください。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入して次のコマンドを入力してください。

```
A:\>copy a:\nt_35\dacadm.exe d:\winnt35\system32
```

```
A:\>copy a:\nt_35\dacmon.exe d:\winnt35\system32
```

コピーした実行ファイルを[管理ツール]グループにアイコン登録してください。

dacmon.exe は[スタートアップ]グループにもアイコン登録してください。

テープドライバのインストール

テープドライブとして DAT SDT-5000(FR-PCXAT-AF)を装着している場合には、テープドライバをインストールする必要があります。テープドライバのインストールは次の手順で行ってください。

メイングループから[Windows NT セットアップ]アイコンをダブルクリックして起動します。

[設定]メニューからテープデバイスの追加と削除を選択します。

- [追加]ボタンをクリックした後、[4 mm SONY ドライブ]を選択して[組み込み]ボタンをクリックします。
- Windows NT Server 3.51 の CD-ROM の i386 ディレクトリのパスを指定します。
- Windows NT セットアップを終了します。
- Windows NT Server を再起動するとドライバがロードされて、テープドライブが使用できるようになります。
-

SCSI コントローラの設定

- 複数の Adaptec SCSI コントローラを使用する場合または、RAID コントローラを同時に装着する場合、ハードディスクが装着されていない SCSI コントローラがあると電源投入後に次のメッセージが表示されることがあります。
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
[F1]キーを押せばこのまま使用することができますが、ハードディスクが接続されていない SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定すればこのメッセージは表示されなくなります。SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定するには、SCSISelect ユーティリティを使用します。SCSISelect はシステム起動時に、SCSI BIOS が表示されている時に <Ctrl><A>を押すと起動します。
- また、CD-ROM から起動する場合には、その時だけ SCSI BIOS を Enabled(有効)に設定してください。
-
- 動作確認
- インストール後、上記のすべての作業が終わったら、Windows NT Server 3.51 が正常に動作していることを確認してください。
-
- 8.その他
-
- 内蔵のビデオコントローラを無効にするには
- Prioris LX Server ユーザーズガイドでは内蔵のビデオコントローラを無効に設定するには VGA ジャンパ(J9)を無効にすることが記載されていますが、実際にはこのジャンパはありません。Prioris LX Server 内蔵ビデオコントローラを無効にするには、システムコンフィギュレーション ユーティリティ(SCU)で次の項目を Not Installed に設定します。
CL-GD542X VGA Accelerator